

全 員 協 議 会 記 録

令 和 5 年 9 月 2 7 日 ②

【開催日】 令和5年9月27日（水）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後0時13分～午後0時16分

【出席議員】

議長	高松秀樹	副議長	中村博行
議員	伊場勇	議員	大井淳一郎
議員	岡山明	議員	奥良秀
議員	笹木慶之	議員	白井健一郎
議員	恒松恵子	議員	中岡英二
議員	中島好人	議員	福田勝政
議員	藤岡修美	議員	古豊和恵
議員	前田浩司	議員	松尾数則
議員	宮本政志	議員	森山喜久
議員	矢田松夫	議員	山田伸幸
議員	吉永美子		

【欠席議員】 なし

【事務局出席者】

局長	河口修司	議事係長	山田寿実子
議事係主任	岡田靖仁	庶務調査係書記	若野みちる

【付議事項】

視察報告について

午後0時13分 開会

高松秀樹議長 それでは全員協議会を始めます。本日の付議事項は視察報告について、会派至誠一心会より視察報告をお願いいたします。

恒松恵子議員 それでは視察報告をいたします。3分ほどお時間をください。

会派至誠一心会、笹木慶之、奥良秀、恒松恵子は本市が進めている地域運営組織の発展的な見地を学ぶために、令和5年8月22日、愛知県長久手市において「重層的支援体制整備事業」、翌日8月23日、三重県名張市において「ゆめづくり地域予算制度」をテーマに視察を行ってまいりました。長久手市においては、名古屋市のベッドタウンとして人口増加が続く中、自治会加入率が低く、地域のつながりが希薄化しています。そこで、「助けがなかったら生きていけない人は全力で守る」という市の基本理念を地域の人々と共に実現していくため、市民の困り事を身近な地域で受け止め、地域の課題は地域で解決できる仕組みをつくるため、厚生労働省のモデル事業として重層的支援体制整備事業に取り組んでこられました。チーム体制で支援を行う姿勢が、本市の今後の参考になると確信いたしました。その他、現状や将来的な取組についての詳細は報告書を御覧ください。続いて、名張市では「住民が自ら考え、自ら行う」を基本理念として、「地域づくり組織」に対して、用途自由で補助率や用途の限定がない「ゆめづくり地域交付金」を交付されています。名張市は、財政非常事態宣言の中、合併しない単独市制を住民投票によって選択されたことにより、平成15年に名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例を制定されたことによるものです。地域共生社会の実現に向けた取組として、地縁型組織、目的型組織、属性型組織の三つの組織を地域づくりの組織として捉えています。興味深かったのは、兼務発令で地域のことをよく知る各地域出身の職員を、それぞれの地域に配置されていることです。現在視察が絶えない名張市でございますが、今後の課題や現実についても、本音でお話を伺うことができました。詳細は報告書を御覧ください。いずれの市も制度導入の目的が明確であり、市職員が十分にまちづくりを認識し、地域予算が交付され、縦割りを超えたチーム支援体制が確立され、段階的に時間をかけて、このように着実な定着に努めていらっしゃると思います。現在本市で進められている地域運営組織に対して、課題や実態を的確に把握しながら、住民主導の築くまちづくりに向けて、問題意識を共有していくことを再認識いたしました。このたびの視察の大きな意義が、このようなことであったことを御報告

して、至誠一心会の視察報告を終わります。

高松秀樹議長 ただいまの視察報告について、皆さんから質疑等はございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で全員協議会を終わります。

午後 0 時 1 6 分 散会
